

第6回GX実行会議

「我が国のグリーン・トランスフォーメーション実現に向けて」

2023年6月27日

三菱商事エネルギーソリューションズ株式会社

代表取締役社長 岡藤裕治

GX実行会議（第6回）レジュメ

1. はじめに

- GX戦略の目指すところは、カーボンニュートラルの実現と日本の産業競争力の復活・強化、経済成長を同時に実現していくことであり、その為には、競争力のある再生可能エネルギーの大規模且つ安定的な導入が不可欠。今後GX実現に向けた基本方針に沿った各種支援策を立案・実行していくに当たっては、常にこの点を意識して優先順位を付けたメリハリのある支援をしていくことが極めて重要。

2. 「GX推進法案」の成立について

- GX経済移行債を活用した複数年度の投資促進策がコミットできるようになり、中長期の事業予見性が確保できるようになった点、またGX推進機構の設立により、GX推進の為に金融支援が一元的に統括され、迅速な支援が期待できるようになった点は大きな前進。

3. GX実現に向けた「道行き」について

- セクター毎の縦割りの支援が前提となっている懸念があるが、大規模な事業構想に対しては、関連する複数のセクターを包括的にパッケージ化した一体型の支援ができるようになると良いのではないかと。
- 例えば、北海道における半導体工場の設立支援や、北海道/九州におけるデータセンター設置への支援について、設備に対する支援のみならず、その施設へ供給される再エネやグリーン水素、蓄電設備や周辺地域のインフラ整備や町づくり等を含め、複合的に支援する仕組みが重要ではないかと。

4. 系統連系について

- GXの肝となる再エネの主力電源化において、広域系統整備計画など着実な系統設備の実施や海底直流送電の計画通りの敷設等も重要となることから、これらマスタープランへの支援の具体化についても願います。

5. 水素分野に対する支援策について

- 本年6月に改定された水素基本戦略にて、エネルギー政策における水素の位置づけがより明確になったことは評価している。
- 日本が産業競争力を維持しつつ脱炭素を実現していく為には、競争力のある水素・アンモニア供給に資するインフラ整備への支援が重要。